

乗務員への指導・監督の記録

| | |
|------|----------------|
| 実施月日 | 令和 4 年 / 月 / 日 |
| 時間 | 時 分 ~ 時 分 |
| 場所 | 北上本店 営業所 |

非公開

非公開

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリ体験の報告やや運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ体験を共有する
- ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

指導・教育の内容

健康管理が安全運転の基本であることを意識づけよう
 事故事例、体調不良を軽視して運転を続けて発作を起こし停止車両に追突
 ポイント1 健康診断結果を真剣に受け止める。休日2.生活習慣病の予防は日々の生活管理から
 1. 健康診断で「要再検査」を指摘されたら、必ず受診しよう。
 キーワード 1. 健康に不安 2. 運転中の発作 3. 早めに検査・治療
 2. 運転中の間食は避けて、栄養バランスのよい食事しよう。
 キーワード 1. 食生活の乱れ 2. 生活習慣病 3. 栄養バランスのよい食事。
 3. 少しでも体調の不良を感じたら、無理をせず管理者に相談しよう。
 キーワード 1. 体調不良 2. 運転が継続できない 3. 凍りかかれば管理者に連絡
 ※ 健康起因事故を防ぐには～脳・心臓疾患や体調不良等で、ドライバーの健康状態が急激に悪化し、運転に支障を及ぼすことを防ぐため～
 ※ 1月の重点管理 今年1年の安全運転目標を掲げよう
 ① 職場の安全運転目標
 ② 個人の安全運転目標

非公開

※この教育記録は営業所で3年間保存すること。

